

昭和31年6月18日第3種郵便物認可
毎月1回1日発行
定価1部15円
印刷所 田辺印刷株式会社
上田市原町 TEL1492

千曲会報

編集兼発行人 小林 尚一
発行所 社団法人千曲会
長野県上田市常入信州大学繊維学部内
振替 長野 6243・東京 43341
電話 上田 1215(代表) 1218(直通)

普通系コムギにおけるX線誘導突然変異体の細胞遺伝学的研究

愛媛大学教授農学博士・理学博士 内川 勇 (蚕13)

はしがき 千曲会報本年2月1日号でお知らせしたように、内川勇氏が北大理学部から名誉ある理学博士の学位を受けられた。内川氏は上田蚕専養蚕科卒業後、京大農学部農林生物学科を卒業せられ、木原均博士門下の細胞遺伝学者として著名である。現在愛媛大学教授として研究に教育に精進せられるかわり、愛媛県労働委員を11年同委員会会長を6年もつとめられ、その方面でも氏の手腕力量は高く評価されている。内川氏が農学博士の学位を受けられたのは20年前であるから、氏の旺盛な研究心によって常に研究の新しい分野を開拓される態度は、惜夫をして立たしめるものがある。このたびの学位論文は主論文が Genetic and Cytological Studies of X-induced Mutants in Common Wheat. I and II. であり、参考論文は英文論文10篇である。ここに同氏の主論文の内容をご紹介します。(田口記)

欧州種普通系パンコムギ (T. vulgare VILL.) の含水量 18.5%, 2.2mm—2.5mm篩選休眠種子に18°Cで次の4様の処方の下にX-線照射を行った。

- a. 20mA., 75kV., Distance 17cm, 484.4 r/min; b. 20mA., 75kV., Distance 20cm, 315.0 r/min; c. 19mA., 200kV., 10mmAl filter, Distance 30cm, 408 r/min; d. 19mA., 200kV., 10mm Al filter, Distance 20cm, 840r/min.

以上4通りの処方では各区200粒宛, 5000r, 10,000r, 15,000r, 20,000r および25,000rの線量を照射し, 照射後22°Cに3日間保存し, 播種硝子室の無菌土壌に播下, 3週間後本圃定植, このX₁植物につき細胞学および遺伝学的調査を行い, 更に自家受精X₂植物, およびX₃植物について細胞遺伝学的調査をした。その結果は大要次のようである。

- 従来X₁植物には表現型の突然変異体はコムギにおいては現れないとされていたが本研究では3.7—3.9%のスペルトイド突然変異キメラ植物, 0.6—0.7%のコムパクトイドキメラおよび0.3%の過剰小穂植物を生じた。
- 突然変異体の出現率は照射線量に比例して増大し, 同一線量では線量率の増大に伴い若干の増加を来す, 20,000r以上の照射では死滅種子増加し, 従って出現突然変異体数及び出現率は数字的には却って減少を示す
- X₁植物成熟分裂各期における染色体異常細胞を観察したところ, 分裂時期により染色体異常細胞率に若干の差を示したが, この染色体異常率は次代X₂における突然変異体出現率と略一致した。染色体不対合, 多価染色体, 不分離, 異常分離, 横断, 欠失, 重複等の各種の異常分裂は数量的に調査された。
- X₂においては表現型的には, スペルトイド, コムパクトイド, 疎穂, 密穂, 長稈, 短稈, 有芒, 矮性, 捻穂, 乱穂, 螺旋葉, 細狭葉, 広葉, 穂葉, 分枝穂, 黄斑葉(病的ではない), その他の突然変異体を見出した。これらの突然変異体の大部分は更に細胞遺伝学的には異なった数型を包含している。
- スペルトイド突然変異体には5型の細胞遺伝学的に異なるものを含み, それらは夫れぞれQ遺伝子(スペルトイド

抑圧, コムパクトイド強調作用をする)を担うIX-染色体の全的欠失, Q遺伝子座を含む長腕の欠失, 長腕末節の欠失Q遺伝子座附近の微小削除およびIX染色体長腕末節と他の染色体の1節との相互転座による欠失—重複に原因して生ずることが明かになり, 各型の異常分離比はそれぞれの変異配偶子と正常配偶子の形成比, 競走授精率および変異接合子消失率で証明された。

6, コムパクトイド突然変異体には6型を含み, これらはそれぞれIX-染色体のQ遺伝子座を含む部分の1節, 長腕全部または染色体全体の重複, IX-染色体と他の1染色体との相互転座および置換, またはIX-染色体長腕のみの3染色体的重複に原因して生ずることを明かにし, 各型の異常分離比を数量的に説明した。

7, 疎穂型は3型を含み, それぞれIX-染色体以外の1染色体の部分的(1節または1腕)ならびに全的欠失によって生ずるもので, その低稈性, 異常分離比は各型の染色体構成に基いて説明された。

8, 密穂型は2型を含み, それぞれIX-染色体次外の1染色体の部分的または全的重複によって生ずることを明かにし, その次代分離比を説明した。

9, 長稈型は1染色体の欠失と1染色体の重複によるもので短稈遺伝子の喪失と長稈遺伝子の重複を来しており, その次代分離比はこれ等遺伝子と染色体異常に伴う配偶子生活力, 授精力の差異を基礎として説明された。

10, 有芒突然変異体は, IX-染色体のB₁—b₂遺伝子座附近の微小欠失およびB₁遺伝子の不活性化によって生ずることは明かにした。

11, 矮性型には4型を含み, それぞれ1染色体の長腕欠失, 1—2染色体の欠失および相互転座によって発現するもので, 各型の分離比に表現型の相違はそれぞれ染色体構成に基いて説明された。

12, 乱穂突然変異体は, 1染色体の1節を残して他の大部分が欠失することによって生じ, その次代分離比の異常は配偶子形成比と花粉競走授精力によって明かにされた。

13, 螺旋葉(穂軸も螺旋状)突然変異体は, 3型を含むがいずれも, 2染色体間の相互転座による四連染色体を含み, 且つ他の1染色体において相互に異っている。この原因と



分離比はそれぞれ明かにされた。

- 14, 細葉突然変異体は、1染色体の葉幅発達遺伝子座を含む1腕の欠失によるもので、広葉突然変異体はこの部分の重複によって発現することを明かにし、その次代分離比もそれぞれ説明された。
- 15, 極葉突然変異体(短稈)は、正常稈遺伝子座を含む1腕の欠失と正常葉遺伝子座を含む1腕の重複によって生ずるもので、その次代分離比は染色体構成に基く配偶子の生活力によって説明された。
- 16, 分枝穂突然変異は、分枝抑圧遺伝子を含む1染色体の欠失によるものであり、屢々見られる過剰小穂植物は非遺伝

的時型であることを細胞遺伝学的見地から説明した。

- 17, 黄斑葉突然変異体は、染色体常異に基く変異体ではなく葉線体形成遺伝子の変質に基く遺伝子突然変異体であり、次代にメンデル式劣性遺伝をすることが明かにされた。
- 18, 短稈突然変異体は2型を含み、何れも実用品種改良の材料として利用価値のあるもので、その第1型は1染色体の重複と他の1染色体の部分的欠失によって生じ、第2型は1染色体の長腕の重複によって発現するものであることを明かにし、両者のヘテロ型の次代分離比はそれぞれ細胞遺伝学的に説明された。

第 10 回 卒 業 式 挙 行

3月10日午前10時より母校講堂に於て第10回卒業式が挙行された。先ず小泉学部長の式辞に始まり伊藤学長より3学科卒業生89名、蚕糸別科5名に証書授与があり、つづいて伊藤学長の告辞、来賓祝辞は文部大臣(加藤教育学部長代読)堀込上田市長、学部改新期成同盟会長(柳沢副会長代読)千曲会代表(山崎理事)より卒業生の前途を祝福する賀詞があり、在校生総代富山昌明君の送辞、卒業生総代佐渡本克介君の答辞があり最後に蟹の光を合唱して11時半頃終了した。

式 辞

本日信州大学繊維学部の第10卒業式並びに蚕糸別科第11回修了式を挙行するにあたり、多数の来賓卒業生並びに修了生の父兄母姉各位の御臨席を忝うしましたことは、本学部の誠に光榮に存するところであります。厚く御礼申し上げる次第であります。

本日大学所定の単位を修得して卒業並びに修了証書を授与せられる諸君は繊維農学科24、紡織工学科38、繊維工業化学科27、蚕糸別科5、合計94名であります。これらの諸君はよく学則を守って勉学にはげみ人格形成に努めて今日の栄えある日を迎えたのであります。このことは諸君自身の喜びであることは勿論であります。また諸君の今日あるを期待して面倒をみられた父兄母姉の皆様お喜びもさこそと推察いたされます。われわれ教職員も心からお祝いを申し上げます。

諸君は本学部在学中、学部の機構改組、それに伴うカリキュラムの変更、学部創立50周年の祝賀、また不幸にも去る1月26日の旧本館の焼失など数々の事件を経験して波瀾の多い学生生活を終るのであります。その間諸君は平静を失わずよく事理をわきまえて積極的に学校に協力してくれました。学部が前進発展の態勢をととのえることの出来たのはひとえに諸君の協力の賜物であります。

さて諸君はいよいよ明日からは実社会の人間としての第一歩を踏み出すのであります。すでに国内国外の情勢、別して諸君がこれから身を投じようとする繊維産業界ないしは技術社会の激動しつつある状態を研究し、やがては指導者としての第一歩をどのように踏み出すかについて十分な心構えをもっていることであらう。

私はここに学窓における最後のいっときを借りて「技術者は斯くありたい」「人と人との接触は斯くありたい」という2つの点について所懐の一端を申し述べて諸君の輝かしい門出における心構えの参考に供したいと思ひます。

現代の社会は科学や技術の波が荒れ狂う舞臺であり、これがあらゆる面に革命にも似た風潮を反映させております。人類の文化の変革に対して科学や技術の介入が今日ほど激しい時代はなく、したがって科学者や技術者の責任はきわめて重大であります。そこで両者の違いを考えますのに、元來實際的な面では技術者の責任は科学者のそれよりもはるかに大きいといわれます。科学と技術は機能的な面では区別があり、科学は仕事を行なう方法を発見するのには、技術はそれを生産に生かす。原理はまさにかくの如くであり、技術者のあり方は昔と今ではかなり違います。昔の技術者は過去の経験の伝承を重んじました。伝承の強みは失敗しないからであります。

しかしいつまでも経験にのみ依存するやり方は、現在では自殺的なやり方以外の何者でもない段階にまできております。技術者は今や坐して偶然を待つことは許されません。彼等は常に新しい着想をためてみる必要があるし、科学の進歩に対して一日も目をつぶることを許されません。もはや科学が経験に対して副次的な役割りを果たすにすぎなかった時代は過ぎ去ったのであります。私は諸君が与えられた仕事を与えられた方法や枠の中でのみ無考に続けるあやつり人形にならないようにお願いしたい。最近の世評の一端にこの頃の大学卒業生には研究心がない。積極性がないということがあります。また上田の卒業生は真面目でよいとの評判も耳にします。勿論真面目な態度は絶対必要であります。この評判の裏を返せば向上的な意欲がない、指導者としての発展性がないとも解されます。私は諸君が諸君の技術を飛躍的に発展させるために常に科学の進歩に注意し創意と工夫と研究を日常の仕事に取入れる積極的な技術者となってくれるよう心から望みます。勿論技術は時とともに社会の事情に条件づけられることはありましようが、先ず技術そのものの中に諸君は自分のゆくべき道を確立すべきであります。

次に第2の点、すなわち人間としてのあり方の問題であります。具体的に云えば、諸君が社会に出て人と人との関係をどのように考えるかということであり、年令も身分も考え方も異質的な実社会は、親兄弟や学生だけの集団とは趣きを異にします。普通いり所の世間にはしばしばみにくい斗争や不合理がありがちで、諸君が純粋であればあるほど憤りに耐えないものがありましようし。かし一方ある特定の場所にすむ人間の集団において、生存のための競争という古い荒けずりの概念は、さまざまな人々の協力という新しい概念に席を譲りつつあるともみられます。個々にみればせめぎあいの醜さはあってもそこには一定のバランスが保たれ、集団は常に全体的なまとまりと持続性をもってあります。大局からみれば、また時というファクターを考えれば決して悩むこと

はありません。人が自己の欠点を反省することなく常に自己を正しとする独善主義におちいらぬ限り、またジェントルマンという言葉が包含する良識、教養協調が重視される限り社会は平和でありましょう。しかし私はこれらとともに特に「すじを通す」という態度を身につけて欲しいのであります。中世紀の暗黒時代から人間性を復活させるための条件として習慣によらず、経験にとらえられず、世論に惑わされず、教義を鵝呑みにせずというフランス・ベーコンの四つの偶像崇拜と破棄せよとの教唆は、枯淡洒脱な文学の中にあらわれている夏目漱石の「即天去私」の思想とともに、言葉は古いが処世上の大切な指針であると思えます。

私は諸君がとかく空疎になりがちな実社会において心豊かな人間として成長し旺盛な研究心と行動力を発揮して社会の負託に十分答えられるよう心から願いたします。

昭和37年3月10日

信州大学繊維学部長 小泉 清明

答 辞

本日は私達のために盛大なる卒業式を挙げていただき厚く御礼申し上げます。又先生父兄の方々をはじめ多数の方々の御出席をまたわり、その上貴重なお言葉、まごころのこもった御訓辞をいただき私達一同深く感銘致すところでありました。

私達はこの長いようで短かかった学生生活を無事終了し、栄えある卒業式を迎えることの出来た感激を一涯忘れることは出来ないであります。この四年間をふり返ってみますと数々の楽しかったこと、悲しかったこと、あるいは苦しかった思い出が走馬燈のようによみがえって参ります。私達はその思い出を学問を論じ合い、政治について語り、人生論恋愛論をたたかわす中で作り出して参りました。

夏は登山冬はスキーとあらゆる季節を通じて私達は多くのスポーツを楽しみ心身を鍛錬し、団体生活の意味と義務と責任の貴さを学んで参りました。感激無量とは全く現在のよきな気持ちを言うのでしよう。この伝統にあふれ美しい環境にめぐまれた思い出深い学園を去ることはほんとうに悲しいことであります。しかし今や私達は全く新しい世界へダイナミックな無数の歯車を擁する巨大な機械のような社会へ飛び出して行くのであります。学生生活で得た学問知識が実際に役立つときがやってきたことを思うと私達は胸がおどります。

私達は学校の名譽を守って正しい信念を強く推進し、私達の重大な任務を強く認識して社会の進展に遅れをとらぬよう努力するつもりであります。目を大きくひらいてみると現代は原水爆戦争の危険がないとは誰も言い切れない時代です。世界の各地で民族解放運動が急激に高まっている時代です。日本がいつのまにか恐ろしい戦争にまき込まれる可能性もっている時代なのです。そして真の平和が私達の努力次第で得られる時代なのです。このようなめまぐるしい社会の動きの中で私達は科学者の一人として物事を科学的に判断し、真理を深究し社会の経済と文化の繁栄、高い生活水準そして平和で幸福な暮らしをきざぐために最大限の努力をする必要を感じるのであります。

後輩諸君、諸君ともいよいよお別れです。この由緒ある上田の地で諸君と共に過したこの四年間はほんとうに意義深い

ものであります。諸君と共に論議し、飯み、歌い、笑い、はげまし合い、教え合った思い出は、いつまでも胸の奥から消え去らないであります。しかし貴重な教室を焼失すると言う悲しい思い出もありました。だが、それをものともせず諸君の若いエネルギーは諸君のからだいっぱい満ちあふれております。この信州の美しく澄みきった青空のもとで勉学にスポーツに情熱をかたむける時間が諸君にはまだ残されております。

諸君がこの貴重な学生生活を正しい信念とたくましい行動力をもって有意義に送られることを心から祈っております。

先生方、私達を今日まで公私にわたり親切に御指導下さいまして本当にありがとうございました。お別れしなければならぬかと思うと、いいしれぬさびしさを感じます。しかし先生方のお教えを守って巣立っていった幾多の先輩諸君の築かれた輝かしい伝統を思うと私達は力強い誇りを感じ雄々しい意気にもえあがるのであります。どうか先生方今後共相も変らぬ御教導をたまわりますよう心からお願いいたします。最後に先生方、後輩諸君の御健康と御発展をお祈りし伝統ある思い出深いこの学園の輝かしい未来を願いつつ私の答辞と致します。

昭和37年3月10日

信州大学繊維学部卒業生総代

佐渡本 克介

卒業単位修得者氏名

繊維農学科

阿部 勝昭	大井 一郎	小宮山源一郎	富岡 稔
松原 喜光	青木 貞夫	大池 昶威	迫 一雄
中村 清	水谷 浩之	石川 行之	大沢 正夫
清水 孝夫	原 重雄	宮村 秀夫	市村 武門
小林 幸雄	田村 恒明	服藤 功	横山十三男
井野 晴次	小林 善晴	坪内 孝夫	保屋野篤男

以上24名

紡織工学科 (製糸学専攻)

相田 隆義	坂本 脩	松田 尊行	若林 久
伊原 茂典	佐藤 大二	宮崎 尚政	今井 袈裟幸
篠原 和彦	山下 興造	小山 清夫	堤 勝造
山田 昭久	近藤 邦男	成田 司	山田 泰造

以上16名

紡織工学科

石川 宏之	小松市太郎	轟 道彦	宮崎 利夫
山本 康博	河西 敏勝	柴田 彰三	中岡 弘
宮下 健	和田 利政	黒川 貞澄	清水 卓雄
中村 康二	柳沢 英司	小泉 幸道	高橋 洋旭
中村 忠美	山岡 修一	小出 明良	寺沢 豊子
浜田 和也	山口 雅男		

以上22名

繊維工業化学科

相沢 義英	太田 雅昭	小松 栄一	清水 昌
寺島 英夫	山本 利彦	赤尾 彰一	押田 洋
駒津 達夫	白井 利彦	戸崎 近雄	若林 忠之
安部 吉昭	小野 裕司	佐渡本克介	白鳥 峰子
中野 達彦	有賀 毅	甲田 英行	塩川 莞爾
鷺見 保俊	西川 満佳	岩月 誠	小林 忠弘
清水 邦穂	田中 信一	柳沢 明	

以上27名

蚕糸科

養蚕課程	大日向勝利	高山 知嗣	
製糸課程	佐藤 守	佐野喜美子	清水喜代子
聴講生	小林 一夫	坂下 信雄	

臨時総会に出席して

東京千曲会幹事 宮下久吉

今次募金の意義

1月26日由緒ある旧本館は焼失した。この復興について協議する臨時総会に出席して若干感じたことがあるので記すこととする。

第一に筆者はこの総会に出席するに当って多くの会員(少くとも東京在任会員の多数)の抱いたであろう疑問(すなわち国立大学の火災復興に卒業生が計画的な募金を行うことが必要かどうか)をもっていた。卒業生の自発的な火災見舞ならに角、同窓会が計画的な募金を行う意味が正直のところ解しかねていたのである。本部が提案した540万円の目標額を達成するためには一人2,000円程度募金しなければならないが先に行なわれた50周年の記念事業でさえあれだけの周到の準備と手段をつくって集ったのが600万円であったことを考えると今回の募金は容易なことでは達成できないと思う。東京支会の例でも50周年募金に当って役員諸氏の献身的努力を以てしても四百数十人の会員中募金した会員は199人にすぎなかったのである。他の支会はいざ知らず東京支会に関する限り今次復興募金に醸出する人の数は恐らく50周年募金を上廻ることは難しいと思う。

この計画を達成するためには本部はあらゆる手段をもってP・Rにつとめ卒業生の協力を求める必要がある。そのためには千曲会報を募金特集号としていろいろな角度から今次募金の意義を説明し、また本部役員は自ら全国に行脚される位の必要があると思う。

筆者自身は頭初に書いた疑問は臨時総会に出席して今次募金の意義を理解できた。とくに小泉学部長の熱誠溢るる学部改新の決意(詳細は千曲会報参照)とこれを支援する千曲会本部役員諸氏の熱意に感服した。つまり今次火災復興募金は単に焼失校舎の復旧が目的の総てではないのである。この禍を契じて逆に繊維学部の斜陽傾向を脱却し、文字どおり繊維科学のメッカたる単科大学への道へ向ってその巨歩を出さんとするところに意義があるのである。そのためには「信大繊維学部復興整備計画」を推進して名実共に繊維学部を繊維科学の殿堂に仕立てておろしお世辞にも立派な大学とは申せないことは同窓会の広く知るところである。今次募金の意義は単に火災焼失校舎の復旧にとどめるものではないことに同窓生は関心をもって貰いたいと思う。在校の千曲会員諸氏が俸

給の25%を拠出する決定をしたという報告をきいて感激したが恐らく諸氏のこの決意もまた学部改新の促進に連なっていると思うのである。

募金の効果はあるか

国立大学の復興整備計画(あるいは火災復興計画)に同窓生が金を出して果して効果があるかどうかという疑問をもつ人が居るに違いない。理屈上は国立大学は国家予算をもって当然運営されるべきであり同窓生が金を集めて一部の施設を寄付するというようなことは大して意味がないとも考えられる。しかし現実には我が国の文教予算は貧弱であり小中学校の義務教育の例を見ても国の予算不足をPTAや同窓会が補っていることは衆知の事実であり国立大学もまた例外ではない。むろんかかる現象は改める必要があり、また逐次改善されるであろう。以上のような状況下においては同窓会の寄付金は文部省を動かすに役立つという話である。臨時総会の席上における八木博士の話では(中央の見解として)地元、同窓、学生等の支援一募金は学部復興整備計画を促進する上に「呼び水」的效果があるという。文教予算があり余る時であれば別として乏しき時代に熱意ある学部先にやろうとする空気になるのは当然であるかも知れない。

千曲会の財政充実にについて

筆者は最近一ツ橋大学の関係者から次のような話を聞いた。同校の有力なる卒業生が母校に対し千万円(人によっては億に近い寄付をする人がいるという)という単位の寄付をする人が出始めたという。(多くは功成り名遂げた人がその財産を寄付するのである)功成り名遂げた人が社会の進歩に貢献する最も良い方法の一つとして次の社会を形成する人材を養成する学校に遺産を寄付するという話はアメリカや西欧において良く行われていると聞くが、我が国にもそういう傾向が現われ始めたのである。

千曲会の同窓生でも巨満の財産を有する人は少くないと思われるが、一ツ橋の卒業生の例のように多額の寄付をする人が出れば500万などという少額でなくケタ違いの募金が可能であると思われる。

一ツ橋大学はそういう基金の利子で教官の後継者を学内にとどめるために何人かの有能なる若手教官の海外留学の費用等に当てているというが千曲会の財政力を充実するための一つの思いつきとして紹介する。

母校火災復興資金支会別募金目標額

支会別	目標募金額	支会別	目標募金額	支会別	目標募金額	支会別	目標募金額	支会別	目標募金額
北海道	28,000円	東京	595,000円	学内	411,000円	三重	105,000円	香川	14,000円
北奥	54,000	神奈川	192,000	更埴	163,000	近畿	238,000	北九州	124,000
山形	45,000	山梨	63,000	北信	243,000	京滋	94,000	熊本	44,000
宮城	49,000	越佐	87,000	飯高	84,000	兵庫	115,000	宮崎	26,000
福島	108,000	富山	70,000	安筑	180,000	三丹	84,000	鹿児島	30,000
茨城	88,000	石川	33,000	諏訪	154,000	山陽	189,000	計	5,800,000
栃木	52,000	福井	28,000	竜川	89,000	山陰	45,000	備考	
群馬	217,000	北佐久	147,000	岐阜	114,000	徳島	30,000	会員数×2,000円	
埼玉	178,000	南佐久	51,000	静岡	87,000	高知	12,000	×0.70=目標募金額	
千葉	63,000	上小	581,000	愛知	334,000	愛媛	56,000		

井上柳梧先生御逝去

元上田織維専門学校校長井上柳梧先生は昨夏来心臓の不完全症にて御療養中でありましたが3月6日午後5時御手厚い看護のうちに82才の御高令を完うせられ遂に御逝去遊ばされました。先生には昨夏1時御重体でありましたが医療の奏効と先生のしんの御強さのために御快遊ばされ11月4日には元気なお姿で本会にご来会され一同喜び申し上げておりましたが、昨年末頃より再発され自宅で御加養に専念されておりました。一日も早く御全快遊ばするよう御祈り申し上げておりましたが、遂に御逝去遊ばされました。哀愁の極み謹んで弔意を申し上げ御冥福をお祈り申し上げます。

告別式は3月14日午後1時より上田市鍛冶町本陽寺において堀込上田市長葬儀委員長にて行なわれました。弔辞は伊藤信州大学長、小泉織維学部長、大日本蚕糸会会頭吉田清二氏、蚕糸学会会長横山忠雄氏、清水長野県短期大学長、長野県蚕業試験場長山崎寿氏、千曲会理事長荻原清治氏より弔辞が申し上げます。他に多くさんの弔辞が霊前にお供えされた。絹糸化学の権威として研究に教育に又市政につくされた先生の御功績をたたえる勲二等旭日重光章の余栄かがやくなかに深博院英治翠暉日悟大居士と戒名された先生に永遠のお別れに会葬ご焼香された各界の名士、知人子弟県内外から馳せ参じた方々は1000名におよび弔電300余通に達し先生の御功績にふさわしく厳粛に行なわれた。

弔 辞

私は2月26日から四国地方工場診断をかねて、高知および徳島千曲会の総会に出席のため出張していました。高知の仕事を終り徳島に行く途中で先生御逝去の訃報をうけたのです。愕然として色を失いその悲しみをわかちあう相手もなく只一人悲しみの涙にくれたのでありました。徳島につき支会の会合に出席し、先生御逝去を伝え出席者一同と共に黙禱を捧げ先生の冥福を祈ったのであります。翌日8日には四国の新聞にも先生の御逝去が報ぜられていたので、日本全国の会員諸君もこの報を知りどんなにか悲しんでいることでしょう。昨年6月先生が重態になられた時も先生の御病状を心配する手紙が全国支会から多数よせられたのであります。幸いにして名医の御手当てと御家族の温い御看護により、又先生日頃の強靱な御体力により健康をとりもどしたのであります。会員一同何れも愁眉をひらいたのであります。それがこんなに早く御逝去されようとは全く夢のようであり、残念であり申し上げる言葉もありません。御家族様からお聞きすれば健康回復後はすっかり御元気となり、写真機も買い入れ暖かくなったら山野を訪ねてカラー写真までとるのだと楽しんでいられたとか、先生には定めし心残りのことであつたと思ひます。

思えば千曲会員が先生から受けたご恩ははかり知れないのであります。校長として、教授として、研究所としてまた晩年は若い学生の後援会長として、永い生涯の殆んどを子弟訓

育の場におられたのであります。教室における先生は、勢力的な常に若々しい澄んだ音声で群を抜いた高度にしてしかも理解し易い講義は吾々の終生忘れることのできないものであります。また研究方面でも蚕糸繊維化学の第一人者として活躍され、短期大学長時代もこの態度は少しも変わらず、昭和32年学長引退後も高血圧の薬ルチンの研究に恵念されたとか、常に研究の重要性を身をもって教えられたのであります。一昨年当学部卒業式の祝辞の際アミノ酸を人工的に結合させて現存の合織に勝る繊維の生成が可能であると話されたことは先生の研究に対する心構えを教えられた最後の印象的な言葉として永くの吾々記憶に残るものであります。先生は多くの研究をもちながら、多忙のため著書の執筆はされなかったのですが、昭和8年絹糸学を書かれ、当時この方面の唯一の指導書として高く評価されたのであります。また32年伊藤先生を主班として完成した「絹糸の構造」は蛋白質および



絹に関する斯界の権威者40有2名の集大成であり、これは国会図書館を通して世界各国へ寄贈しましたが、このトップに先生の貴重な研究の執筆をいただいたことは、この著書にひときは光陰をそえるもので永く絹の研究史にのこるものであります。また若くして母校に赴任された先生が針塚先生をたすけて本学発展に尽力され、その後校長のバトンを受けつぎ母校発展の基礎をつくって下さったのであります。

母校は今大きく脱皮発展しつつありますが、先生には永く永く存命され完成された母校の姿をご覧になられたらどんなにか喜んでいただけたことでしょうか。千曲会は母校発展の縁の下となり、舞台裏の道具方となって母校に協力し、母校改新発展を完成して行きたいと念願しており、これこそ先生の御恩に報ゆる唯一の道と考えるのであります。先生は又常に自然を愛し、特に登山を好みその集積が写真となり、絵画となっておったようであります。最近毎年催された個展の画題は殆んど欧州アルプスを中心としたもので、これに配するに高山の植物や野鳥がもちいられていたのであります。その優雅な画風はすべて先生の人格をにじみ出しており、これらの写真や絵画は、今はなき先生のお姿を吾々の心に深くのこす一つの遺品であります。先生はまた常に千曲会を愛し、支援し且つ信頼し、千曲会の会合の際には必ず出席され、吾々と膝をまじえ全国の支会の会合にも心よく出席して下さい。このように吾々が敬慕した先生の温容にもう接することができなくなりました。吾々の悲しみは何ものにもたとえようがありません。只今こうして先生の御霊前にぬかずきますと、にこやかに微笑される温顔がまぶたに浮んでくるのであります。先生どうか安らかな眠りについて下さい。そして母校および千曲会の発展をお守り下さいますようお願いいたします。ここに謹んで千曲会を代表して哀悼の意を表し御冥福をお祈り申し上げます。

昭和37年3月14日

社団法人千曲会理事長

荻原 清治

恩 師 井 上 柳 吾 先 生 を 憶 う

信州大学名誉教授 蒲 生 俊 興

梅花薫る3月6日恩師井上柳梧先生には薬石の効も空しく忽焉として白玉楼の人となられてしまいました。美代子令夫人や御遺族の皆様の御愁嘆は申すまでもなく、親しく御教授を賜った多数の門弟各位の哀愁海に察するに余りある次第であります。流石に登山やスキーで永年鍛えられた御身体であられるだけに、昨夏心臓病で御重傷といわれた危機も、難なく突破せられ、82才の御高令を迎えられたわけでありましたが、昨年暮頃から、再発遊ばされ、今回は昨年よりも食慾も衰い、ことに2月末頃から発熱(39度位)も伴われ大変呼吸困難の御様子に拝承致しましたが、終に3月4、5日頃から昏睡の状態に陥られ、御回復の望みも只々神明の御加護による奇跡を待つのみとなりました。それでも仲直りということもあるので、いま一度御意識が戻られて御遺族と最後の御話の出来る機会もあらんかと日夜御祈り申し上げたのですが、3月6日午後5時頃敢えなく御永眠遊ばされましたことは誠に残念至極で御座います。茲に謹しみて哀悼の敬意を表する次第で御座います。

先生はもと元老院議員井上廉氏を父とし、幕府御普請役内藤直氏3女みち子さんを母とせられ第5男として、明治13年9月21日東京で呱呱の声を揚げられたのですが、御茶の水小学校から、第1高等学校を経て、最初に東京帝国大学理科大学の地質学科に入學せられたのですが、その後再び東大、農科大学農芸化学科に転学せられ、明治41年同大学を卒業せられました。間もなく43年上田蚕糸専門学校の創立の頃、針塚校長の懇望によって、先ず独逸国に留学せられ、大正2年頃帰朝せられ、新進の教授として生理化学と繊維学とを講義せられました。その蘊蓄の豊かなる上に、教授法も極めて御上手で、殊に黒板に書かれる外国語などは極めて流麗に運ばれ、常に我々の模範とするところでありました。又先生は特に英語及び独逸語には極めて御堪能であられたので、英、仏語専門の和田教授の外に Silk という洋書を教材として英語の御教授を引受けられたことも忘れられないことでもあります。当時先生が東京高蚕の前身、東京蚕業講習所の講師を兼ねられた頃、外入向きの同所の英文一覧は井上先生が書かれたものと拝承しておりました。

間もなく先生は上田蚕蚕の養蚕科長に就任せられ、更に大正11年頃長野県蚕業試験場の本場が開設せられた時、懇望されて初代場長を兼任せられ、当時上田支場長をしていられた水井寿一郎氏と、母校関係から松村季美氏、鶴田定平氏等を招いて長野県蚕業研究機関の基礎を造られたことも先生の偉績の一つに数えられると思います。

針塚長太郎先生が退官せられるや抜擢されて蚕糸専門学校長となられ、昭和21年迄その職にあられ、終戦後伊藤武男先生に譲って退官せられましたが、その後衆望を担って公選初代の上田市長に当選せられ、当時終戦後国民思想混濁の極に達した頃、上田市政のために尽瘁せられ、千曲高校の設立、ことに上田市の水源を直接、神川上流に求めた点など、上田市のために不朽の大事業を完遂せられたことも特筆すべきことと思ひます。

その後長野女専が短大と改称せらるるに当り、懇望されて初代の短大女専長となられ、本県に於ける女子教育のために尽された功績も亦没すべからざるものがあります。かくの如く先生が学者としても、行政官としても行く所として常に偉功を立て、名声を発揮されたことは、一つに先生の御高德と御手

腕とによるものであり、誠に稀に見る不世出の天才であられたのでありまして、誠に敬仰の念を深うする次第であります。

先生は先に東大地質学科に学ばれたためか、登山やスキーを特に愛好せられ、日本アルプスにして先生の足跡の至らない所はなかつた程でありましたから、信濃山の会の会長ともなっていました。又井上家の御系統には画家の血が流れて居られ、御令弟の故井上六郎氏(私の兄故蒲生俊武と美術学校時代の同期生)のような画家が出て居られるのを見ても先生が晩年特に絵画に専念せられ、多くの傑作を遺されたこともうなずかれる所であります。

先生は又短歌をよくせられ、昨年6月頃病床に居られた当時既に御辞世とも思ほしい短歌を自筆せられて居られました

湯の丸のれんげつつじを眺めえで
別るる旅ぞいたましく思ほゆ
時鳥今日別れなばいつの目か
君の御声を又と聞かなん

又ことに御会間に對する感謝や思いやりの御心情も強くあられ、同じ病床に於て次の一首を残して居られる。

床の間に飾られし花の美しさ
君の心の奥ぞ知られて

尚本年2月頃病状篤くなられてからも「パンテオン(Pantheon)の扉は輝いた」と前書せられ次の一首を自筆されて居られます。

パンテオンの扉は輝いた
みすずかる信濃の山の雪深く
真理の奥をわれは究めん

その前書を拝読しても清らかな先生の御心が万づの神々の扉の輝くのを御覧になられたものと思われて誠にゆかしい限りであります。ことにこの最後の御歌を拝読して、先生が御臨終の際までも如何に学究的であられたかが伺われ、誠に輝かしい科学者の大往生と存じ上げ讚賞措く能わざるところであります。

先生はその御性格は極めて温和であられ、凡そ人と争うこと又憤怒の情を示されたことは全く見られませんでした。この度の御病床におかれても御意識のあられた間はいつも御会間や看護の方々に対して、小声で「有難う」といわれ、誠にいじらしくも思われました。兎角病中などでは誰しも地金が現われてわがままな気持が出がちであるのに、御最期まで御身内の方々まで示された感謝の御心情は本当に尊い御人格の片鱗とも見られ誠に敬服の至りであります。

今や先生の御霊は神の御位の座につかれ、永遠に御遺族や先生を敬仰する我々の前途を御導き下さることでありましよう。今は幽明境を異に致して居りましても、一度眼をつぶれば先生の温容は忽ち浮び出でて、いつも微笑をもらして我々を迎えて下さるのを覚えます。冀わくば先生の御霊よ永遠に安らかならむことを。(昭和37年3月14)

謹啓 亡父柳梧儀葬儀の際はご丁重なるご弔慰を賜わり且つご会葬をかたじけのりしご芳志まことにありがたく厚く御礼申し上げます。さっそくお伺いの上御礼申し上げるべきでございますが略儀にて失礼ながら書中をもってごあいさつ申し上げます。昭和37年3月14日
上田市新参町
施主 井上 隆 吉
井上 美代子
外 親 戚 一 同

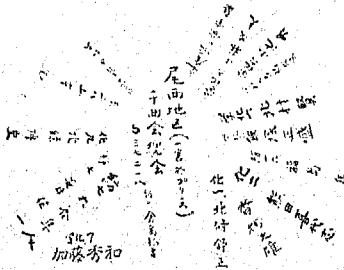
支会だより

愛知支会尾西地区千曲会便り

2月半ば18日夜、毛織の都尾張一宮プリンス食堂に於て、尾西地区の総会が開かれた。

相憎く感冒流感の折柄、工場の休日が金曜日とあって、日曜日出勤の方々もあり、員数に於て充分な出席率をみる事が出来なかったのは残念であった。

愛知支会は東三河、西三河、名古屋、知多、愛日丹葉、尾西地区の六地区に分れているが、昨春は名古屋で愛知支会総会の総会を行なわれたが、今春は、支会の世話人会で、各地区毎に開催することに決定した。之はもとより遠方の方々もこぞって出席を肯すと共に、地域的に千



曲会員の、就職先の品種が異なることを考慮したものである。

総会は先ず母校より北条先生の御出席を賜って、沓掛支会長の挨拶に始まり、千曲会支会の昭和35年度会計報告、会費の納入状況の説明あり。

納入率を高める方法は、如何にすべきや、種々な意見の交換あり。千曲会より集金をして歩く方法、或は他大学の例にある如く終身会費をおしすすめる方法、又は郵便貯金制度の採用、会費としては少量の金額のため送金が面倒で、ついその儘になって、未納がたつて現状こそ、千曲会の力を発揮すべき絶好の機会、此の印象のさめない中に色々と復旧の手段を、考えねばならないのが、全員の意見であった。

次で北条先生より1月26日夜母校旧本館火災現場の御説明を聴く。火災による焼失のニュースは千曲会員は勿論のこと職場における周囲の人々の話題にもなり、信州における過去三ヶ年の憶い出多き教室の失ったことは、一沫の寂しさを漂はせるもので、こういう時機こそ、千曲会の力を発揮すべき絶好の機会、此の印象のさめない中に色々と復旧の手段を、考えねばならないのが、全員の意見であった。

某会員の話によれば、焼失の旧本館は、蚕業経済史に残る、伝統的な総檜造りの建物で、京都の大学に於て、此の建物の由来について、講議をきいたことが

ある。上田出身の本人が知らず思わず顔を赤らめたという話も出た。

千曲会本部に於ても、早急に号外を発行して、復旧に邁進すべく、千曲会員に呼びかけるべきであつて、時機を失しないように、御考慮願いたい。然しながら復興資金募金については、あくまで個人の意志による義損金、見舞金としてであつて、地区別個人別の割当等は、妥当でないと考えられる。

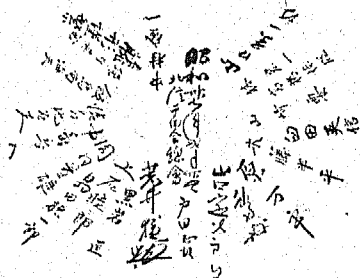
次に北条先生の米國留学当時の米國における研究生生活や、都会生活の様々について、カラースライドの説明を拝聴した。

最後に兼松羊毛の安井常務の音頭により、千曲会万才三唱、信州名物パップ落花の舞を行つて、盛況裡に散会した。当日の出席者は別紙寄書の各位である。

尚当日都合悪く、出席出来なかった各位も宜しく、母校復旧のため、千曲会発展のため御協力を願つてやまない次第である。(尾西地区世話人 化2熊田誌)

北信支会開かる

2月24日(土)午後2時から、長野市内裾花川のほとりにある「あさひ荘」で母校から山口先生をお迎えして、北信支会の総会が行なわれた。主な議題は母校の学部改革問題、火災によって失なつた校舎復活の件、飯高支会分離の件であつた。



た。討議の主な内容は次のようであつた。

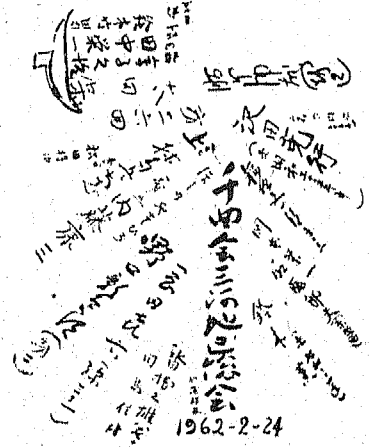
1 上高井、下高井、下水内の各部は地理的に北信支会に入るの種々の不便があるので、新たに飯高支会として出発する。

2 校舎復活の資金募集には大いに協力したい。ただし募金の方法については、一口いくらと決めても差支へはないが、実際の募金にあたってはこれにこだわらず、なるべく広範囲の人からとえいくらでも御協力をいただくという様でゆきたい。

なお、会議終了後7時頃まで懇親会が行なわれた。普段あまり会はない人々の集りで大変有意義な且にぎやかな一夕となつた。メンバーは寄せ書を御覧下さい。(事務局 戸田)

愛知県三河地区千曲会総会の状況

水ようやく、ぬるみかけた2月24日渥美湾の海原を一陣に望む景勝地、東海道線の蒲郡海岸にある蒲郡荘において、昭和36年度三河地区千曲会総会を母校野口新太郎先生を迎えて、盛大に開催することができましたので、その概要をご報告いたします。三河地区会員79名にご案内申し上げたが、勤務等の都合で出席できなかった方々も多数ありましたが、定刻には沓掛支会長を初め22名の新旧の会員がお集りいただきました。



開会予定時刻より少々おくれて午後3時半、沓掛支会長のごあいさつに初まり、野口先生より母校の状況、特に科名の変更や火災の模様などについて、くわしく承り、引き続き議事にうつり、昭和36年度愛知県千曲会支会の会計報告等があり、一同原案通り承認いたしました。さらに、母校の焼失した旧本館再建資金の件について、いろいろ話合いがなされました。

活発なご意見もありましたが、結局、会員の母校愛に燃えた気持ちに訴え、母校より趣旨書をいただいた上で、存分のご協力を願うことになりました。

本日不幸にしてご欠席の方々も、よろしくご賛同いただきたいと存じます。

議事の進行につれて、酒肴の準備も整いましたので、一応議事を打ち切り、懇親会にうつりました。型のごとく人已紹介に初まりましたが、今回は特に若い会員が多数参加いただいた為か酒も進み、話はずみ、和気あいあいの内に楽しい一時を過ごすことが出来ました。

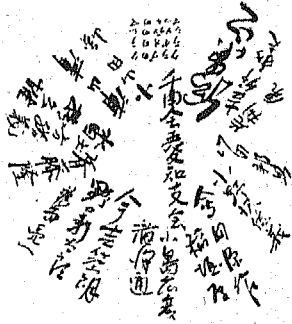
いつの間にか午後7時もまわろうとする頃、上林先輩の音頭で千曲会発展の万歳に名残りつきない夕の幕を閉じ、散々個々或は二次会に、或は家路にと別れをつけ、ここに無事三河地区千曲会総会を終りました。

最後に遠路お越し願いました野口先生に厚くお礼申し上げて報告といたします。

(蚕28回 松田記) 2.28

愛知支会名古屋地区総会記

前日の三河地区の総会に引き続いて、2月25日名古屋市西区の料亭大森に於て、午後2時より、名古屋地区の総会が野口、会田両先生を迎えて盛大に開催された。



出席者は20名、両先生よりの挨拶並びに母校将来の計画、旧本館焼失に対する復興等について種々説明があり、次で沓掛支会長より本年の経過報告、火災復興に対する当支会の協力方針等の説明、意見があった。又、出席者よりは非常に活発な発言があり、大いに意を強くした。

宴に移っては、一同学生に返った様な若々しい活気に満ちたふん囲気の中に夜のふけるまで歓談が続いた。

(化6 稲垣)

出席者

野口新太郎 会田 源作

- 小中 潔(蚕10) 沓掛 久雄(蚕10)
- 稲葉 正一(蚕11) 小島 広彦(学蚕7)
- 今吉 築郎(紡5) 滝沢 通(紡16)
- 倉島 紀富(紡22) 斎藤 隆(紡25)
- 吉野 吉末(紡26) 山浦 幸二(紡29)
- 小山田 峻(化3) 稲垣 厚(化6)
- 土方 勝義(化6) 浦 山清(化8)

山田 邦男(化8) 福島 亮一(学化1)
片桐 康(学化4) 小野沢信義(学化6)

榎内明君の急逝を悼む

榎内明君(蚕28卒、鐘淵蚕糸相馬工場原料課長)が1月25日未明、43才を一期として急逝された。これをきいて驚愕し長嘆息しないものがある。

千曲会福島支会からの御連絡によれば、事情は次の如くである。1月23日夜相馬駅で宮城県下の団協組合員を見送り、夜11時頃自転車に乗って帰宅の途中、道路上の積雪のため車輪がすべり、小川に転倒し、石垣に額を打ちつけた。真夜中12時近くようやく附近の家にたどりつき入院したが、7針縫うほどの大怪我であった。翌24日には人事不省でもあったが、午後は意識が明瞭になって来たので、関係者一同安心したような気持ちになったが、その後内出血のため容態急変し、夜中には意識不明となった。そして1月25日午前4時遂に不帰の客となって了ったのである。葬儀は1月27日に鐘淵蚕糸相馬工場葬で挙行された。

榎内君は柔道3段20余貫の偉丈夫であり、精力絶倫であった。性格は剛柔かね具えて非常に巾があり、信頼されると共に気易く親しまれた。学生時代は「エノチャン」と愛称され、3年間を通じ総代をつとめ、名実ともにクラスのリーダーであった。応援団の総務取締役もやったが、上半身肌ぬぎになってのたくましい拳骨拍手がいまも眼にうかぶのである。終戦で復員してまもなく、福島県蚕業試験場原町支場につとめたが、ついで福島農蚕学校(昭和22~24年)で教鞭をとり、昭和24年3月鐘淵蚕糸相馬工場原料課に入社された。彼の巾ひろい性格から

この最後の職場が最も適していると思われたが、果せるかなあの産繭処理の最も混乱した時代にあつて、卓越した手腕と頑健な体力を昼夜の別なく駆使して著しい業績をあげ、若輩数年を出でずして原料課長に任ぜられた。年賀状に「子供3人酒3升」とかいてよこしたのはこの頃だった。最近是人間的に円熟を加え、社会的にも仕事の上にも愈々信頼され、これからこそ彼の真価が発揮される時であった。われわれ同級生にとつてはもちろん、千曲会にとつても最大のホープの一人を失つて了つたのである。痛恨この上もないことである。彼は実によく人の面倒をみた。筆者が仙台に出張したさいにわざわざ福島県の相馬から出て来て、宴席に加わってくれたことも今は懐しい思い出となつて了つた。一度同級会をやるうと筆者や長野の水口君にいつて来たのもついこの正月だった。

あとに遺されたものは奥さんと高校一年(長男) 中学二年(次男) 小学五年(三男)の3遺児である。御一家のこれからの事を思うと誠にお氣の毒に堪えない。遺児育英資金を募りいささかなりとも学資の一助にさしあげたいと思う(愛知の松田君からも推進方の手紙をいただいた)そこで早速福島支会にその計画について意向をたしかめたところ、すでに相馬養蚕連や福島県製糸協会原料部門などが中心になり、千曲会福島支会も協力して発足していることが判明した。従つてそれに協力する形で下記の要領で推進したいと思つたので、同期生はもとより一般千曲会会員も奮つて御賛同下さい。

(松尾卓見記)

特許・実用新案・意匠・商標
出願・訴訟・鑑定

浜 特 許 事 務 所

東京都芝新橋1の20
堤第一ビル四階
東京(591) 0764・0765

弁理士 浜 香 三
弁理士 中 猪 之 助

故 榎 内 明 氏 遺 児 育 英 資 金 募 集

鐘淵蚕糸相馬工場原料課長榎内明氏(蚕28)は昭和37年1月25日交通事故のため急逝されました(追悼記参照)前途有為の同君の死を悼み遺児育英資金を募集いたします。

1、金額200円以上御随意
1、締切4月末日(多少の延長は可)
1、送り先 福島県相馬市中村 鐘淵蚕糸相馬工場
上妻光雄氏宛

同期生発起人 松尾 卓見 田中袈裟平
水口 米雄 松田 得治
柔道部発起人 田中 英一 石井 耕一
大井 卓雄 滝沢 喜三

支会長並支会連絡事務所一覽

(昭和37年3月15日現在)

支会名	区 域	支会長勤務先又は住所	支会連絡事務所
北海道		池田正五郎(蚕11) 北海道農林業改良普及協会事務局(札幌市北三条)	
北 奥	青森県・岩手県 秋田県	和田 敦(蚕18) 岩手県庁蚕糸課(盛岡市内丸)	
宮 城		向井 致弥(蚕10) 仙台市東6番町46	仙台市北田町51 山本友之丞
山 形		栗原 章(蚕5) 山形丸十商店(山形市旅籠町563 電3859・6648)	
福 島		原田 種亀(蚕9) 郡山女子短期大学附属高等学校(郡山市)	福島市上町10蚕糸会館内福島県製糸協会(電336) 竹内万二郎
茨 城		船後 勇平(蚕6) 茨城県機械開発株式会社(水戸市鉄砲町1.143の1 電 4409)	水戸市木ノ折町 水戸農業高等学校 影山 剛
栃 木		高橋 汎一(蚕8) 宇都宮市操町1ノ27	
群 馬		目崎 武美(蚕26) 群馬県農政部蚕糸課前橋市曲輪町	前橋市南曲輪町70 前橋生糸検査所
埼 玉		武田 一好(蚕19) 市田農業協同組合(埼玉県大里郡大里村中曾根 電 熊谷 2.318)	熊ヶ谷市石原2232 片倉工業石原製糸所 吉田 力
千 葉		大沢 宝市(蚕11) 千葉県市川工業高等学校(市川市)	千葉市市場町 千葉県教育庁社会教育課 境沢正人
東 京		小林 運美(糸16) 東京都世田谷区池尻町 369 電世田谷(41) 0878)	東京都千代田区霞ヶ関 2ノ1 農林省蚕糸局技術改良課 電 本局 7431 宮下久吉
神奈川		有賀 康人(糸14) 株式会社斎藤運送店(横浜市中区北仲通 5ノ57)	横浜市仲区北仲通 5 農林省横浜生糸検査所 宮城忠夫
越 佐	新潟県	秋山 利夫(蚕24) 新津市善通721 電 新津 303	
富 山		桐本他喜男(紡9) 興羽紡績株式会社入善工場(富山県下新川郡入善町入善)	高岡市横田796 通産省高岡繊維製品検査所 上野毎夫
石 川		新野 武雄(糸21) 石川県生糸検査所(金沢市高岡町)	同左 斎田新次
福 井		高品喜一郎(紡4) 福井県鯖江市片町	福井市町屋町泉住 6ノ5 原口惣一郎
山 梨		鶴田 定平(蚕1) 山梨県八代郡石和局区内国衛	東八代郡石和町下平井168 久保田不二夫
北佐久	北佐久郡 小諸市	山崎 保太(糸19) 小諸市赤坂	佐久市中込447 千久水社中込工場
南佐久		野沢司馬作(蚕13) 佐久市野沢町 野沢郵便局	白鳥竹和
上 小	上田市・小県郡	和田 晋(糸12) 上田市鎌原町 電461	上田市前田町 上小地方事務所蚕糸課 岩田正人
更 埴	更級郡・埴科郡 篠ノ井市更埴市	茂原 重雄(糸17) 埴科郡松代町	埴科郡松代町田町1,009 中村治三郎
北 信	長野市・飯山市 上下水内郡	荒井 猛(糸12) 長野市妻科347 電2.025	長野市長野県農業試験場 戸田正行
飯 高	須坂・中野市・ 上下高井	荒井 猛(糸12) 同上	
安 筑	南北安曇郡松本市・ 東西筑摩郡	松岡 潔(蚕14) 長野県繭検定所(松本市庄内町)	松本市庄内町長野県繭検定所 柳沢 弥
諏 訪	諏訪郡・諏訪市 岡谷市	小松 忠幸(糸25) 金二組製糸所(岡谷市川岸 電2.052)	
竜 川	上下伊那郡・駒 ヶ根市・飯田市	篠田 正信(紡12) 新興紡績株式会社(下伊那郡鼎町)	下伊那郡鼎町281 天電社 榎原清志
岐 卓		榎本 健治(紡13) 東亜紡績株式会社大垣工場(大垣市木戸町)	
愛 知		杏掛 久雄(蚕19) 錦洲蚕糸株式会社河田蚕種製造所(春日井市上田薬町2.615)	同左 石井耕一
静 岡		戸倉惣兵衛(蚕2) 袋井市駅前 電213	静岡市池田代官町1.834 安倍房吉
三 重		鈴木 正悟(蚕21) 三重県久居農業高等学校(三重県一志郡久居町)	
近 畿	大阪府・奈良県 和歌山県	石坂虎治郎(糸5) 京都市左京区高野西玉岡町23	大阪府西区江戸堀南通 3ノ13 日本化繊検査協会 井野正夫
京 滋	滋賀県 京都府山城	石坂虎治郎(蚕5) 同上	京都市中込壬生辻町31京都染工株式会社 松本 昇
兵 庫	兵庫県(丹波但 馬を除く)	大塚 重蔵(糸8) 農林省神戸生糸検査所(神戸市葺合区浜辺通 8)	同左 丸田節男
三 丹	京都のうち丹波 丹後及び兵庫県 のうち但馬	小林 清志(糸17) 郡是製糸株式会社本社(綾部市青野町)	同左 研究所 高沢弘明

母校ニュース

学科主任決定す

本年度各学科主任は次の通り決定した

- 繊維農学科 田口 亮平教授
- 紡織工学科 野口新太郎 "
- 紡織工学科 (製糸専攻) 荻原 清治 "
- 繊維工学化学科 会田 源作 "
- 繊維機械学科 高木春郎助教授
- 一般教養部 中村 六男 "

入学試験開始さる

前月号母校ニュース欄で掲載のとおり本年度入学試験は3月23日、24日両日施行された。

学生後援会役員会開催

3月20日学部会議室において学生後援会役員会が開催され各役員の他に各学科主任、補導委員がオブザーバーとして出席した。議事は学部校舎復興整備資金拠金について協議し学生一人当たり金20000円を拠出することに決定した。

本会記事

臨時総会開催

3月11日午前11時学部第1会議室において母校火災復興資金募集について臨時総会を開催した。時節柄多忙のところ繰り合せて出席された役員、代議員は56名で委任状提出は30通であった。会議は荻原理事長、小泉学部長より火災の経過、お見舞に対する御礼、復興計画等について詳細な説明あり、議長は理事長指命により山崎寿氏(北信支会)副議長に宮下久吉氏(東京支会)が選出された。

決定事項
①復興資金募集の表題は母校火災復興資

- 金募集実行委員会とする。
- ②実行委員会の組織委員は本は部に一任され、別掲載のとおりで委嘱した。
- ③火災復興資金募集目標額は5,400,000円募金経費を除き500,000円を復興のため母校に提供する。
- ④募金方法は本部に一任する。
- ⑤支会別の資金募集目標は別掲のとおりである。
- ⑥募金払込期限は37年12月末まで。

千曲会臨時総会出席者

- 茨城 船後 勇平
- 神奈川 宮城 忠夫
- 東京 宮下 久吉
- 群馬 岸 勝弥
- 北信 戸田 正行
- 安 筑 藤本 衛佐雄
- 諏訪 浅野 清志
- 愛知 茅野 和雄
- 三重 小山田 峻
- 近畿 田中 泰久
- 兵庫 石坂 虎治郎
- 上小 丸田 節男
- 川上 保人
- 箱山 住夫
- 島田 林助
- 猪坂 直一
- 小泉 清明
- 松尾 卓見
- 山口 亮平
- 母袋 良平
- 野沢 潤子
- 矢彦 沢清允
- 田中 一行
- 小笠原 真次
- 三石 賢
- 青沼 茂
- 町田 博
- 直井 利雄
- 山崎 寿三
- 齋藤 監
- 倉島 紀富
- 諏訪 重蔵
- 近畿 蔵庫小

- 遠藤 恒久
- 中島 暹
- 北条 舒正
- 蒲生 俊興
- 大工原 建
- 阿久津 伊平
- 小林 勝
- 西村 善次
- 小山 定
- 東川 静夫
- 八木 誠政
- 柳沢 幸男
- 白井 要範

上田繊維科学振興会理事会開催さる

3月19日午後2時より上田繊維科学振興会理事会が開催された。議題は①役員改選内規について審議し役員選考委員に柳沢延房、小泉所、山口定次郎、香山清和、坂口育三の5氏が選出され小泉学部長、荻原理事長も加って新に15名の新理事および3名の監事が選考された。千曲会理事會、教授会の承認の上正式に決定することになった。尚新な理事として各学科主任、田口亮平、野口新太郎、荻原清治、会田源作、高木春郎、中村六男の6氏および小泉学部長、柳沢延房、呉祐吉、関博夫、北条舒正、香山清和、笠原正巳、川合久午、飯島南海夫の各氏計15名が新理事に小泉所、竹内善吾、清水事務長の3名が監事に決定した。②振興会の法人の組織化については基金少いこと等難色があるが財団法人組織とするよう更に研究することに決定した。

針塚先生追想録刊行代表委員会開催

3月24日千曲会館において代表委員蒲生俊興、林貞三、倉沢美徳、猪坂直一、荻原清治、山口定次郎、松尾卓見の各氏出席し、針塚先生追想録刊行代表委員会が開かれた。

編集委員鈴木教吾、猪坂直一、松尾卓見の各氏によって内容の充実した編纂が終ったので印刷所に廻すため諸打合せを行った。

支会名	区 域	支会長 勤務先又は住所	支 会 連 絡、事 務 所
山 陰	鳥取県・島根県	黒岩 覚(糸9) 松江市石橋町333	松江市東朝日町 片倉工業株式会社松江製糸工場 楠八重行雄 鳥取県米子市 日本レーヨン株式会社 伊藤 幸男
山 陽	岡山県・広島県	江野村一雄(紡7) 山陽技術振興会(岡山県倉敷市向市場町1.207)	
徳 島		村田 一由(蚕18) 東邦レーヨン(株)(板野郡北島町)	麻植郡鴨島町徳島県鑑定所 矢島卓也
高 知		窪田 盛作(蚕7) 高知市北本町1ノ104	高知市丸の内5 高知県農林部蚕糸課
愛 媛		工藤 見吉(蚕17) 愛媛県蚕業試験場(大洲市中村)	安岡美登
香 川		緒方善之助(蚕8) 香川県香川郡塩江町安原下	
北九州	福岡県・佐賀県 長崎県・大分県	小山 祖光(糸16) 福岡県農政部企画室(福岡市天神町)	福岡市天神町 福岡県庁農務課 熊谷省次郎
熊 本		深迫 明(蚕16) 熊本県経済部蚕糸課(熊本市御幸町19)	熊本市北水前寺町 熊本県鑑定所 林田義雄
宮 崎		中島 茂(蚕11) 宮崎大学農学部(宮崎市船塚町100)	
鹿 児 島		中山 吉二(蚕12) 九州大学農学部附属指宿試験地(鹿児島県指宿市田良)	

会 員 動 静

月岡 恒男 学糸4 東京 プリンズ自動車工業(株)三鷹分工場(東京都三鷹市上連雀990)

前田 雅弘 蚕 13 山形 自営(果樹園芸)山形県上山市川口34

丸井 確 糸 34 北信 長野県飯山市太田中学校
滝沢憲次郎 農 5 神奈川 神奈川県立相原高等学校(相模原市橋本)(住)東京都町田市相原1751ノ4

牧野 春雄 糸 10 徳島 徳島県阿南市田余町神崎製紙(株)社宅3ノ1

小林 良直 紡 2 群馬 群馬蚕糸製造株式会社(高崎市八島町115)(住)前橋市元総社町2263 電話5790

桑原 宣治 蚕 36 群馬 群馬蚕糸製造(株)高崎市八島町115(住)群馬県吾妻郡中之条町 電252

安田 勝彦 学紡7 近畿 財団法人綿スフ織物検査協会 泉北検査所(住)岸和田市春木町292

林 文彦 紡 25 東京 日立ビルディングサービスK K(東京都千代田区大手町2ノ5日立常盤橋別館)(住)東京都新宿区戸塚町3ノ388 南天荘

小松 昭威 学糸5 大阪 プリンズ自動車工業(株)関西支社(大阪市南区西清水町43)

片岡 孝命 学糸6 上小 上田信用金庫(上田市馬場町)
岡村 勇 学紡9 愛知 愛知紡績(株)名古屋工場(名古屋市区山田町上小田井)

永井 覚 旧職 三丹 長野県松本市逢初町3466 株式会社蚕種消費普及会

菊地 六郎 蚕 27 // // //
金井 保 蚕 34 // // //

村上 義美 糸 24 茨城 福島県安達郡本宮町 郡是製糸本宮蚕種製造所
茨城県石岡市国分町7884ノ1 神栄生糸石岡工場

母校火災復興資金拠出申込氏名及金額

(敬称略順序不同)

氏名	申込額	卒回	支会	氏名	申込額	卒回	支会	氏名	申込額	卒回	支会
○杏掛 久雄	20,000	蚕 19	愛知	関 博夫	13,000	蚕 23	学内	東川 静夫	4,000	学蚕 6	学内
○榎本 健治	10,000	紡 13	岐阜	田口 亮平	18,000	蚕 17	//	滝沢 達夫	4,000	学蚕 6	//
○市川 文夫	2,000	学蚕 2	北信	竹田 寛	13,000	蚕 25	//	大工原 建	4,000	学糸 7	//
○土屋喜久雄	5,000	蚕 専	北佐久	田中 一行	7,000	蚕 35	//	西尾 泰徳	4,000	学蚕 6	//
柳沢 幸男	6,000	農 4	学内	篠原 房江	5,000	学紡 2	//	西村 善次	5,000	蚕 38	//
青沼 茂	8,000	糸 33	//	中島 遼	9,000	糸 16	//	山口定次郎	20,000	蚕 12	//
阿久津伊平	9,000	紡 17	//	野口新太郎	20,000	紡 2	//	山崎 晋録	14,000	糸 19	//
石川 博	9,000	糸 32	//	北条 舒正	11,000	化 1	//	小林 勝	3,000	学蚕 8	//
遠藤 恒久	10,000	紡 20	//	町田 博	14,000	蚕 21	//	柳沢 連子	8,000	養 6	//
荻原 清治	20,000	糸 12	//	田中 茂光	7,000	農 2	//	美斉津利正	7,000	紡 専	//
小山 長雄	11,000	蚕 26	//	松尾 卓見	14,000	蚕 28	//	矢彦沢清允	5,000	学化 1	//
古平 福紀	10,000	蚕 29	//	土屋 幾雄	8,000	紡 26	//	三石 賢	6,000	化 9	//
小林 尚一	15,000	紡 8	//	一之瀬匡興	7,000	紡 26	//	宮下 明治	4,000	学蚕 5	//
坂口 育三	13,000	蚕 22	//	飯島 莊資	4,000	学糸 3	//	河村 恒雄	3,000	学蚕 6	//
桜井 善雄	7,000	蚕 35	//	窪田 衛二	4,000	学蚕 4	//	母袋 良平	5,000	蚕 10	//
押金 健吾	7,000	蚕 38	//	武井 隆三	4,000	学蚕 5	//	白井 要範	5,000	糸 12	//
大屋 正尚	6,000	化 9	//	小笠原真次	4,000	学化 4	//				
篠原 昭	5,000	学糸 2	//	小山 定	4,000	糸別 2	//				
白井 美明	14,000	糸 20	//	野沢 潤子	4,000	学糸 5	//				
								計 54名	458,000		

(註) ○印は完納済み

出版近し 乞予約申込

針塚長太郎先生—その伝記と追想記

刷上り300頁 追想記100余名執筆 実費頒価1部 1000円
「針塚長太郎先生—その伝記と追想記」の編纂が終り、いま印刷所に廻っております。これは、ひとり一世の師表針塚先生を伝えるのみでなく、母校のほころべき歴史を伝えるものです。潑刺たる息吹が一巻をおおっています。母校が新しい時代を迎えようとするとき、とくに若い同窓生の愛読をおすすめいたします。印刷部数をきめる上にも、即刻予約申込み下さい。なお同時に送金をお願いします。(千曲会振替口座東京43341番を御利用下さい)

信州大学繊維学部千曲会館内
針塚先生追想録刊行委員会

編集室より

陽春4月の好季節となりました会員皆様御健勝活躍のことと存じます。学部第10回卒業の新入会員94名がさっそうとして各業界に技術者として就職しました。お喜びを申し上げると共に、研究にみがきをかけて将来の大成を期待いたします。

母校火災復興資金募集については3月11日臨時総会においてその方針が決定しました。何卒御了承の上母校復興発展に特別の御支援協力をお願いいたします。

編集委員 小林 尚一 香山 清和 西村 善次
大屋 正尚 一之瀬匡興 柳沢 幸男
小山 定 白井 要範